埼玉県立和光南特別支援学校　　令和６年２月１５日発行　NO.１０

和光南だより

〒351-0106　埼玉県和光市広沢４番５号
電話 048（465）9780　FAX 048（460）1016

学校教育目標「仲間とともに　心豊かに　たくましく」

和光南のこれから

校長　矼　秀年

本校は、本年度からコミュニティ・スクールとして新たにスタートしました。すでに学校のホームページの学校概要にご案内のとおり、目指す学校像も刷新し、「児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指して、地域社会とともに成長する学校」と定め、学校経営方針の「学校の重点目標」の四本の柱のうち、「（３）健康で安全・安心な学校づくり」はそのままに、「**（１）個別最適な学びと協働的な学びの充実**」「**（２）地域社会と連携・協働した学校づくり**」「**（４）１２年間を見通したキャリア教育の充実**」として改め、掲げています。これは、本校の児童生徒の卒業後の生活をより良いものにしたいという私たち全教職員の願いから打ち立てたものです。長ければ本校で１２年間を過ごす児童生徒が多くいます。卒業後に自立と社会参画するために、卒業時から逆算した系統的で段階を踏んだ指導が重要となります。社会に出るために高等部の３年生ではどのような学びが必要なのか。そのために２年生ではどのような学びをしておかなければならないのか。といった具合に、その前の学年・学部と遡って教育内容を検討し、計画的に実践していかなければならないと考えます。また、（１）にあるとおり、新しい学習指導要領の核である「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善を進めています。本年度は、根拠のある指導と授業改善に取り組むための研修会を実施しました。先生方には、科学的な根拠に裏付けられた指導に資する有意義な研究の機会となりました。そしてさらに、（４）にあるように、キャリア教育に視点を当てながら子どもたちの学びを進めていくことが大切と考えております。そのために、（２）に「⑤コミュニティ・スクールの機能を活かした教育活動とそのための地域社会との連携の拡大と強化」を加えました。卒業後の自立のために、今年度は事業所様や企業様との連携の新規開拓を進め、就労の機会の拡大に努めています。とりわけ、所沢市の kibi-ru ACTION 様とコラボレーションした新所沢パルコ閉館のイベントは、学区域を超えた活動の一例となっています。たくさんの事業所様・企業様との連携の機会を増やし、本校について認知していただくことが第一であると考えます。また、本校の児童生徒が地域社会に出て、様々な活動をすることも進めています。これまで学習活動として地域の清掃活動などにも取り組んできましたが、それが和光南の児童生徒たちであると知っていただけるように工夫も加えました。まだまだ小さな一歩ではあると思いますが、地域社会に本校をさらに広く認知していただけるような取組を展開していきたいと思っております。

このほど、本校に地域社会の事業所様や企業様が主体となって、本校の後援会を立ち上げてくださることとなりました。応援してくださるのは本校の現場実習や作業学習でお世話になっている皆様や卒業生の就労先などの皆様です。昨年１１月に後援会の発起人会を開催してくださいました。名称は「たけっちサポーターズ」と予定されております。

むすびに、新型コロナの感染症の位置付けが５類となって久しくなりました。今年度は、プールでの学習活動も再開できました。（１）について、この一年の成果を来年度は多くの保護者の皆様にご覧いただく機会を設けることができたらと期待しております。